

報道関係者各位

## 令和5年度東日本大震災避難者アンケート調査の結果について

このことについて、下記のとおりアンケート調査の結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1 調査の目的

東日本大震災から12年が経過する中、避難生活の長期化に伴う課題や避難者のニーズ等を把握し、今後の避難者支援策に資するため、例年実施しており今回で13回目

#### 2 調査対象世帯数等

対象世帯 425世帯

回答世帯 103世帯 (回収率24.2%)

#### 3 調査期間

令和5年6月下旬から7月下旬

#### 4 調査結果のポイント

- (1) 山形での生活について、困っていること・不安なことは「生活資金(44.7%)」が最も多く、次いで「自分や家族の身体の健康(40.8%)」、「山形県での冬(雪)の生活のこと(32.0%)」の順となっており、生活資金と身体の健康と回答した方の割合が依然として高い(複数回答)。
- (2) 今後の生活の予定については、「山形県に定住したい(38.8%)」と「もうしばらく山形県で生活したい(34.0%)」を併せて、当面山形県に留まりたい意向の方が約7割と、依然として高い傾向にある。
- (3) 心身の不調を訴える方は、調査を開始した平成23年度は8割程度であったが、年々減少傾向にあり、約6割となっている。
- (4) 新型コロナによる影響は、「移動自粛により避難元にいる家族との時間が減った(26.2%)」が昨年度より大幅に減少、「イベント等の中止により地域との関わりが減った(16.5%)」は微減となっている。一方、「特にない」は31.1%で最も多く、年々増加している(複数回答)。

#### 5 公表資料(別添のとおり)

- (1) 令和5年度東日本大震災避難者アンケート調査の結果について【概要】
- (2) 東日本大震災避難者アンケート調査集計結果

【問い合わせ先】防災くらし安心部防災危機管理課復興・避難者支援室  
中川 電話 023-630-3164  
【報道監】防災くらし安心部次長(兼)危機管理広報監 柴崎